

無線LAN 通信環境調査サービス

アンリツカスタマーサポート株式会社 測るサービス

本サービスの背景

無線LANは、ケーブル配線が不要で、手軽に高速通信ネットワークが構築できるという利点があります。反面、多種多様な無線通信電波や生活環境雑音等のノイズ干渉により通信障害が発生することもあります。このような問題により、無線LANの通信環境調査や障害対策といった計測/評価のニーズが増えてきております。

サービス内容

専門スタッフをお客様サイトに派遣し、各種計測器やツールを使用してお客様の無線LAN通信環境の可視化とともに障害原因調査や改善対策案などをご提供いたします。

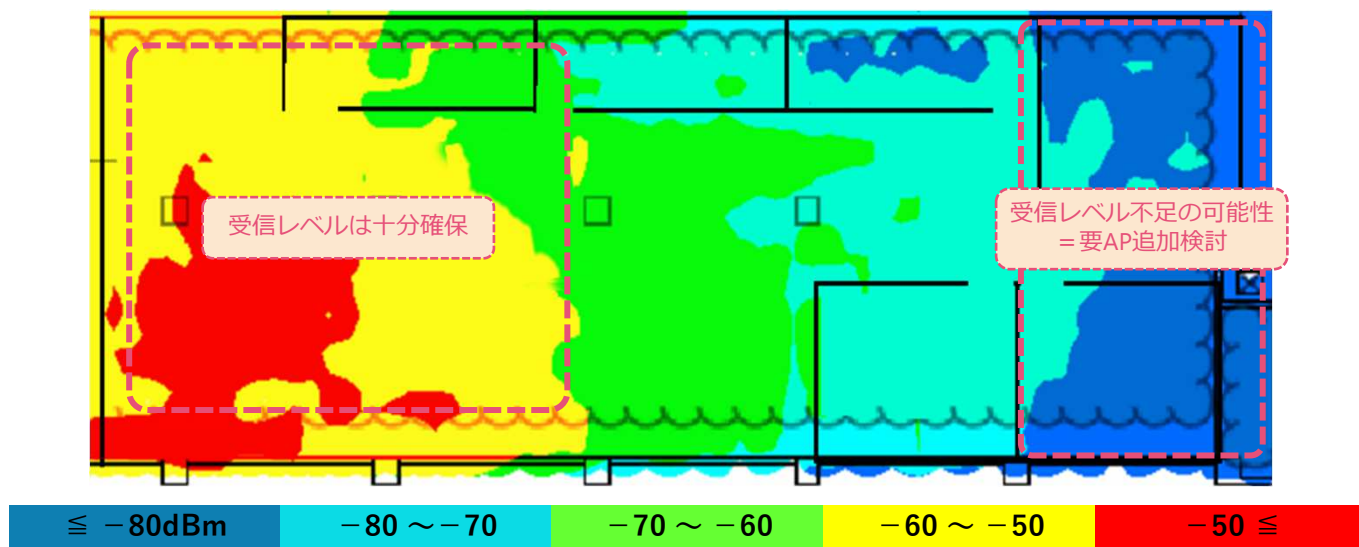
■ 調査対象

無線LAN周波数帯 (2.4GHz、5GHz), IEEE802.11a/b/g/n/ac(WiFi-5)/ax(WiFi-6)無線LAN方式

■ 調査例

電波強度 ヒートマップ作成

ヒートマップとは、敷地内で無線LAN電波強度をメッシュ状に測定し、その分布を地図上に表示したものです。安定した通信が確保できる信号強度(目安: -70dBm)を超えているかどうかが一目でわかります。

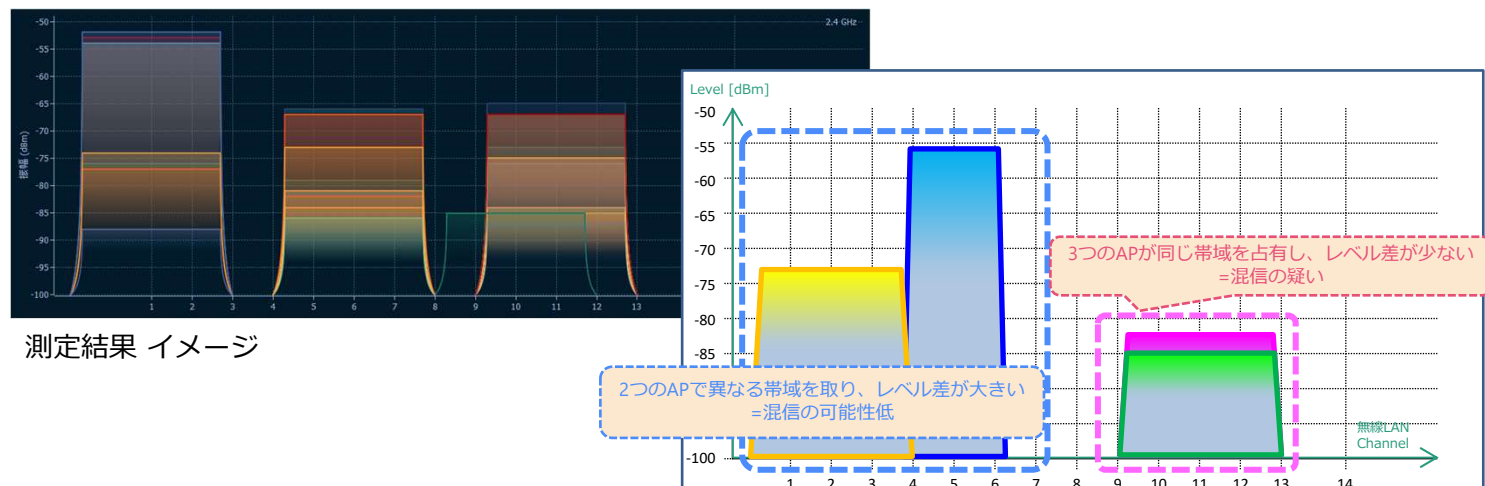


無線LAN電波強度 ヒートマップ 作成例

無線アクセスポイント検出

施設内に設置されているAPが使用する周波数帯域/帯域幅等を検出します。

このことにより、混信の原因となるAP(他フロアー/他社が設置したAP、勝手に設置された、所謂「野良AP」、etc...)の存在を可視化することができます。ここから、適切なAPのChannel配置ご提案することができます。

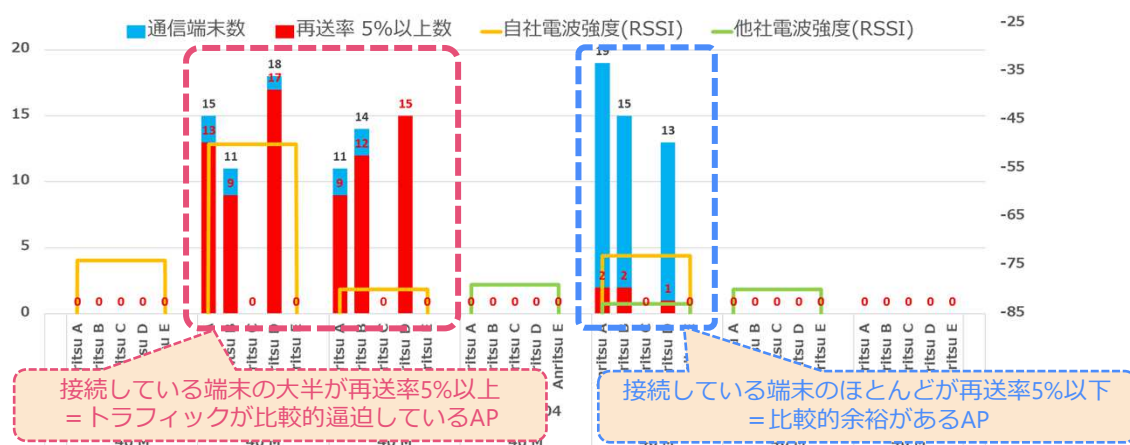


APノード状況 モニタリング

施設内の各APに接続されている端末の数と、それぞれの再送率を測定します。

APに接続している端末の再送率が高い場合、そのAPはトラフィックが逼迫していると判断できます。

ここから、APのトラフィック逼迫を解消させる必要性の有無や方法をご提案致します。



無線LAN アクセスポイント検出

サービスの特徴

■ 計測器メーカーグループならではの確かな計測技術

各種無線測定器を取り扱う計測器メーカ・アンリツ製品や、最先端の解析ツールを使用し、計測業務にて培ったノウハウを備えたスタッフが調査を請け負います。

■ ネットワークの最下位（物理）レイヤ～上位レイヤ解析までをカバー

スペアナによる物理レイヤ評価だけでなく、実際の通信トラフィックのモニタによる上位層評価まで拡張することで具体的なAP/STA間の通信状況を把握し、障害要因を掘り下げます。

■ お客様は調査場所のご提供のみ

調査設備やツール、および調査スタッフは原則としてすべて当社にてご用意します。

APC-F1ZR04-23008

アンリツカスタマーサポート株式会社

<https://www.anritsu.com/ja-jp/anritsu-customersupport>

営業計画部 営業チーム

TEL : 0120-214-012

Email(サービス全体): APC-sales@anritsu.com

Email(はかるサービス専用): hakaru_service@anritsu.com

受付時間

月曜日～金曜日(当社休業日を除く)

9:00～12:00, 13:00～17:00



ホームページ